

②2020年度副理事長事業活動報告

副理事長 石橋 宏章

本年度、周年準備委員会担当副理事長として務めさせて頂きました。委員会では、理事長の所信を受け年間計画を立案し、年初から4事業を計画しておりましたが、コロナウイルス感染症の影響ですべての事業が白紙になりました。

委員会には2021年度に35周年という節目を迎える準備としての役割があり、その中でも会員拡大事業は今後の青年会議所運動活動を行う上で非常に大事な事業だただけに残念でなりません。しかし、委員長、副委員長、委員メンバーの努力により、地域意識調査事業を行うことができました。コロナ禍という厳しい状況下で、もとみや青年会議所、自治体に対し、地域住民はどんな運動を期待しているのかをアンケート調査をもとに集計することができました。

集計結果はもとみや青年会議所にとって財産であり、35周年を迎えるに当たり、非常に参考になる資料です。地域住民の声を次年度以降しっかりと形にしていきたいと考えております。

結びに、役職を頂き学ばせて頂いた菊田理事長はじめ、委員会、メンバーの皆様一年間大変ありがとうございました。今年の経験を次年度へと生かして参りたいと考えます。

副理事長 佐川隆司

本年度、TPF委員会担当副理事長を務めさせて頂きました。副理事長という職務を与えてくださった菊田理事長をはじめ、委員会メンバーの皆様には大変お世話になりました。とても貴重な経験を積むことができました。ありがとうございました。

本年度は春からコロナウイルス影響により、今まで経験したことのない一年間となりました。まちづくり、人づくりを担うTPF委員会の事業もコロナウイルスの影響を大きく受け予定していた事業も変更せざるを得ませんでした。委員長、副委員長、委員メンバーのおかげで本宮高校模擬面接会をはじめ、本宮市商工会と協同の飲食店応援事業、10月から12月にかけてはもとみや商店街協同組合と連携した事業も行うことができました。

青年会議所全体の会員数減少は私たちもとみや青年会議所にとっても同じ課題ですが、今年度の事業を振り返り、もとみや青年会議所単独の事業ではなく地域の他団体と連携して事業を行うことの可能性を感じることができました。事業を行う上でパートナーシップを組むことで事業の広がりは今まで以上に大きくなると確信すると共に次年度以降も今年度の経験を活かし、運動を行う所存です。メンバーの皆様、次年度もよろしく願致します。お世話になりました。